

年 組 名前:

小中生記者魅力を発信

北杜テーマは山、冊子に

北杜市で小中学生が記者となって市の魅力を取材し、発信する取り組みが進められている。市内の名山や洞窟へ行き、登山家やクライマーらの話を聞き、書いた記事と撮影した写真を冊子「ほくとこ」に掲載。取り組みを主催する団体の代表者は「学校では学ぶことのできないクリエーティブな教育を受けられることに加え、地元の魅力をより深く知るきっかけになる」と話している。

〈藤井駿伍〉

企画したのは、市内のクリエイターらでつくる団体「水の山」子ども情報局「篠鉄平代表。子どもたちが地元を取材して地域情報紙を発行する。「ほくとこ」は2020年度から毎年発行されていて、3回目の22年度は小学4年〜中学2年の12人が参加し、昨年6月から活動が始まった。

子どもたちは市内の雑誌編集者や、プロのカメラマンから文章の書き方や撮影の仕方などを学び、7チームに分かれて取材内容について検討。第3弾となる今回は「山」をテーマに決め、登山家の花谷泰広さんに日向山の登山道整備について質問をしたり、アルパインクライマーの横山ジャンボ勝丘さんからクライミングの魅力を聞いた。

昨年8月下旬から、記事の執筆やデザイン作業に取りかかった。記事や写真は団体のアートディレクターらがチェックし、冊子は昨年12月に完成した。A4判のカラーで24ページ。現地で撮影した写真や手書きのイラストとともに一問一答形式の記事が書かれていて、市の観光スポットや名山をまとめた地図や、完成までの取り組みの様子なども盛り込んでいる。4千部作成し、市内の小中生全員に配布するほか図書館や観光案内所に配る予定。

昨年12月18日、旧高根北小（市高根町長沢）で完成発表会が行われ、子どもたちが記事の内容の紹介や活動の感想を語った。泉小4年の小林紡さんは「取材の時に聞きたい質問を上手に聞けなくて苦勞したこともあったけど、完成してうれしい」と話していた。

(2023年1月4日付 山梨日日新聞 16面)

問1

北杜市の小中学生記者は、何を取材し、どのようにして発信していますか。

.....

問2

第3弾のテーマは「山」でした。誰に、どのような取材をしましたか。

・誰に: 取材内容:

・誰に: 取材内容:

問3

あなたが記者になったら、どのようなテーマで、何を取材したいですか。

・テ マ:

・取材内容: